

舞鶴医療センター附属看護学校

まいづる☆かん GO!!

第4号 発行日:平成22年6月30日

〒625-8502

京都府舞鶴市字行永 2410 番地

Tel:(0773)63-4338 Fax:(0773)63-3014

アドレス kyokan-d@maizuru-mc.jp



あじさいのきれいな季節になりました。肌寒い日が続いていましたが、やっと梅雨になりましたね。梅雨と聞くとじめじめとした季節とってしまいますが、あじさいや蛍がきれいな季節でもありますね。皆さんお久しぶりです。いかがお過ごしでしょうか?今回は新しい仲間を迎えることができた喜びや、看護の日などについて掲載しています。

☆ 入学式・歓迎会 ☆

～新しい48名の仲間たち～

4月9日(金)に第63回生48名(内男子学生12名)の新しい仲間を迎え入れることができました。みんな、夢や希望でいっぱいの表情や、慣れない生活が始まることへの不安などさまざまな思いが入り混じっていました。そして4月16日(金)には期待と不安に戸惑うなか、先輩たちが歓迎会を行なってくれました。体育館でのドッチボール。先輩に向かって投げるのは怖かったけど、いつの間にか思いっきり投げていました。すみません。。



☆ 看護の日 ☆

～感謝の気持ちを伝えたくて～

今年も4月30日(月)に「看護の日」の行事として、母院である舞鶴医療センターと与保呂川の清掃を行いました。病棟では点滴スタンドや車いすなどの備品を磨きました。正直「ものすごく汚れているな～」って思ったけど、きれいになっていく備品をみて、また、「ありがとう」と言って頂くたびに、私たちの気持ちもすがすがしくなり、患者様に気持ち良く安心して使って頂けるようになってほしいと思うようになりました。きれいって気持ちがいい!!



☆ 特別講演 ☆

～ 人の温かさ ～



講師の先生は、なっ、なっんと、あの名田庄村でご活躍中の、『中村伸一先生』でした。地域医療の難しさ、地域医療でしかできないこと、大切なことを教えて頂きました。「その人らしく」「人って温かい」「人がいるぶん繋がりがあがる」。また、先生は「患者さんは教科書ではなく先生である」とおっしゃっていました。私たちも患者様と寄り添えるあたたかな看護師になりたいと強く思いました。



☆ その他 ☆

～ 看護って大変、看護って深いなあ～

1年生・・・6月21日（月）に病床環境演習で初めて病棟に行きました。（緊張した～）環境について、「快」「不快」と感じるのは1人1人違うので、その患者さんに合った快適な環境づくりをしていきたいです。（まとめの会より）



2年生・・・10月からの基礎看護学実習Ⅱに向け勉強に、演習に励んでいます。

3年生・・・5月6日（木）から各看護学実習が始まりました。一つの看護問題を展開するのに奮闘中！
また7月1日（木）より3クール目がはじまります。

☆ バレー部より ☆

みなさま、はじめまして。バレー部です。今年も7月3日（土）に予定されている『あじさい杯』に向け、男性7名・女性22名で活動しています。今年は新たにユニホームを購入していただき、「優勝!!」を目指し、みんなの心も一つになりました。6月22日（火）・6月28日（月）は舞鶴高専バレー部の方たちと練習試合を行ないました。バレーを通し親睦も深まっています。



☆ 新任の先生方の紹介 ☆

～ 宜しくお願い致します ～



住田尚子と申します。私は、京都医療センターでの看護経験を経て、当校に異動しました。学校という新しい環境になり、今までやってきたことと少しずつ違うことに戸惑いがありましたが、一年生の担任をさせて頂き、学生から毎日元気を貰っています。二年生に進級することを目標に、これからも一緒に学習していきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

島田美紀と申します。毎日がめまぐるしく過ぎていき、はや3ヶ月が経ちました。初めて知ること、初めて取り組む内容も多いですが戸惑いながらも刺激的で楽しい日々を送っています。学生たちとともに、私も生き生きと楽しく学びたいと思っています。最近では、「舞鶴の地をもっと知りたい！」という探求心が湧いてきてガイドブックやググルメ情報を集めては、わくわくしています。またお薦めスポットを教えてください。この貴重な出会いと時間を大切に精一杯がんばりたいと思います。至らぬ点、多々ございますがご指導どうぞよろしくお願い致します。



☆ 里帰り紫陽花 ☆

～ おかえりなさい この想いつまでも ～

「紫陽花が咲いたら、僕らのことを思い出して下さい」この言葉は、舞鶴市にある城南中学校にたてられている紫陽花の碑に書かれてある言葉です。十数年前病気を患っており、国立舞鶴病院（当時）入院し、病気とたたかっていました。友達が待っていてくれる学校で、皆と勉強したり、広い校庭で思いっきり走り回って遊びたいと願っていた少年は、残念ながら回復することができず、城南中学校へ行くという少年の希望はかなえられませんでした。その少年の発案で病院の中庭に植えられることになったこの紫陽花



の国道側の花壇に植えられました。その紫陽花は大きく育ちこの季節になると、美しい花を咲かせています。この少年と前後して、同じ病に倒れ、本来なら城南中学校に入学してくる予定だった少女の話もあります。（「命の尊さを教えてくれる城南の紫陽花」より一部抜粋）そんな紫陽花の株を城南中学校の校長先生が「里帰りさせてやってください」と準備してくださり、当校に帰って

きました。その株を学生が当校の花壇に植え、一つの大きな花を咲かせています。少年や少女の希望は叶えられなくても、少年や少女の「想い」を伝えていける看護師さんって素敵ですね。その人の「想い」を大切に、その人に寄り添える看護師になりたいと思います。



☆ 終わりに ☆

このたび、48名の新入生と2名の新しい先生を迎えることができました。学生総数125名、職員10名となり、また新たな希望を胸にそれぞれ取り組んで行きたいと思います。これからの学生生活や取り組み、またオープンキャンパスや公開授業の様子など報告したいと思います。第5号は12月下旬の発刊予定です。暑い日が続きますが水分をしっかりと取り、お体には充分お気をつけください。これからも温かく見守ってくださいね。宜しくお願い致します。

